

剰余の表現について

よしだ りょうすけ
吉田 亮介

多項式 $P(x)$ を $x-1$, $x+2$ で割った余りがそれぞれ 5, -1 である。 $P(x)$ を $(x-1)(x+2)$ で割った余りを求めよ。

(数研出版 新編 数学II 応用例題2 p.45)

典型的な剰余を求める問題です。

教科書では、商を $Q(x)$, 余りを $ax+b$ とし,
 $P(x)=(x-1)(x+2)Q(x)+ax+b$ として,
 $x=1, -2$ を代入して a と b を求めるといふ解答を与えています。ここでは、さらに $ax+b$ を $x-1$ で割った式を $P(x)$ の剰余項として設定する解答を提示します。

解答

$P(x)$ を $(x-1)(x+2)$ で割ったときの商を $Q(x)$ とし、余りを次のように表現する。

$$P(x)=(x-1)(x+2)Q(x)+a(x-1)+5 \quad \cdots\cdots\textcircled{1}$$

①に $x=-2$ を代入すると

$$P(-2)=-3a+5=-1 \quad (\because P(-2)=-1)$$

より $a=2$ となるので、余りは

$$2(x-1)+5=2x+3 \quad \square$$

参考 もちろん、

$$P(x)=(x-1)(x+2)Q(x)+a(x+2)-1$$

に $x=1$ を代入してもよい。

多項式 $f(x)$ は $x-1$ で割ると余りは 2 , x^3+1 で割ると余りは $(x-1)^2$ であるという。 $f(x)$ を x^2-1 で割ったときの余りを求めよ。 [芝浦工大]

割る式は 2 次式より、剰余項 $ax+b$ をさらに $x-1$ で割った式を設定します。

解答

$f(x)$ を x^2-1 で割ったときの商を $Q_1(x)$ とし、余りを次のように表現する。

$$f(x)=(x^2-1)Q_1(x)+a(x-1)+2 \quad \cdots\cdots\textcircled{1}$$

$f(x)$ を x^3+1 で割ったときの商を $Q_2(x)$ とする

$$f(x)=(x^3+1)Q_2(x)+(x-1)^2 \quad \cdots\cdots\textcircled{2}$$

①と②に $x=-1$ を代入すると

$$a(-1-1)+2=(-1-1)^2 \text{ より } a=-1 \text{ となる。}$$

これを①の剰余項に代入して

$$-(x-1)+2=-x+3 \quad \square$$

多項式 $P(x)$ は $x-1$, $x+1$, $x+2$ で割ったとき、余りがそれぞれ 9, 1, 3 である。 $P(x)$ を $(x-1)(x+1)(x+2)$ で割ったときの余りを求めよ。 [早稲田大]

次の 3 次式で割る問題では、剰余項を ax^2+bx+c とおく立式が一般的かと思われませんが、この剰余をさらに $x-1$ で割った式を剰余項として設定します。

解答

$P(x)$ を $(x-1)(x+1)(x+2)$ で割ったときの商を $Q(x)$ とし、余りを次のように表現する。

$$P(x)=(x-1)(x+1)(x+2)Q(x)+\{ax+(a+b)\}(x-1)+9 \quad \cdots\cdots\textcircled{1}$$

①に $x=-1$ を代入すると、

$$P(-1)=(-a+a+b)(-2)+9=1 \quad (P(-1)=1)$$

より $b=4$ $\cdots\cdots\textcircled{2}$

①に $x=-2$ を代入すると、

$$P(-2)=(-2a+a+b)(-3)+9=3$$

$(P(-2)=3)$ より $-a+b=2$ $\cdots\cdots\textcircled{3}$

②と③より $a=2$ なので、余りは

$$(2x+2+4)(x-1)+9=2x^2+4x+3 \quad \square$$

参考 剰余項をこのように設定することで、連立 3 元 1 次方程式に持ち込まない流れを得ます。

多項式 $f(x)$ を $(x-1)^2$ で割ったときの余りは $8x-2$, $(x-2)^2$ で割ったときの余りは $3x+11$ である。 $f(x)$ を $(x-1)^2(x-2)$ で割ったときの余りを求めよ。 [西日本工大]

ここでは、剰余項を ax^2+bx+c と設定する方法と見比べてみます。

解答1

$f(x)$ を問題文の順の式で割ったときの商を、 $Q_1(x)$, $Q_2(x)$, $Q_3(x)$ とすると

$$f(x)=(x-1)^2Q_1(x)+8x-2 \quad \cdots\cdots\textcircled{1}$$

$$f(x)=(x-2)^2Q_2(x)+3x+11 \quad \cdots\cdots\textcircled{2}$$

$$f(x)=(x-1)^2(x-2)Q_3(x)+ax^2+bx+c \quad \cdots\cdots\textcircled{3}$$

①, ③より $f(1)=6=a+b+c \quad \cdots\cdots\textcircled{4}$

②, ③より $f(2)=17=4a+2b+c \quad \cdots\cdots\textcircled{5}$

③から、 ax^2+bx+c を $(x-1)^2$ で割った余りは $(2a+b)x+(c-a)$ となり

$$(2a+b)x+(c-a)=8x-2 \quad (\textcircled{1}\text{より})$$

係数を比較して

$$2a+b=8 \quad \cdots\cdots\textcircled{6}$$

$$c-a=-2 \quad \cdots\cdots\textcircled{7}$$

⑤, ⑥, ⑦より $a=3$ これを⑥, ⑦に代入して

$$b=2, c=1 \quad \text{よって } 3x^2+2x+1 \quad \square$$

解答2

$f(x)$ を $(x-1)^2(x-2)$ で割ったときの商を $Q_1(x)$ とし、余りを次のように表現する。

$$f(x)=(x-1)^2(x-2)Q_1(x)+a(x-1)^2+8x-2 \quad \cdots\cdots\textcircled{1}$$

$f(x)$ を $(x-2)^2$ で割ったときの商を $Q_2(x)$ とすると、

$$f(x)=(x-2)^2Q_2(x)+3x+11 \quad \cdots\cdots\textcircled{2}$$

①と②に $x=2$ を代入すると、

$$a(2-1)^2+8\cdot 2-2=3\cdot 2+11 \quad \text{より } a=3 \quad \text{となる。}$$

これを①の剰余項に代入して、

$$3(x-1)^2+8x-2=3x^2+2x+1 \quad \square$$

このように剰余項の未知数を減らす設定をすることで、(若干かもしれませんが)計算が簡素になるかと思われれます。

《参考文献》

- [1] 宮原 繁 モノグラフ 『式の計算』
科学新興新社
- [2] 新編 数学II 検定済教科書 数研出版
(北海道浜頓別高等学校)